

平田鐵胤 てつおん 國學者。寛政十一年十一月十六日江戸生れ、明治十二年十月二十五日歿（一七九九—一八八〇）。伊豫國新谷藩土着川氏の長子。諱は初の篤真、通稱内藏介、大角。號氣吹舎、伊夫伎のやのあろじ鐵胤等。文政五年平田篤胤の門に入り、のちその女婿となる。篤胤歿後平田學派を率ひ、入門者を篤胤歿後門人としてその學問維持に努めた。維新後參詣神祇事務局判事、内國事務局判事、皇學所御用掛、明治天皇侍講、大學大博士、大教正等歴任。

編 『毀譽相半書・児の手かしハ』（中澤伸弘校註、平成十六年七月一日）
 日神奈川・平田篤胤翁顕彰會）刊。

